

# 四大先行部門に力を入れている朝鮮民主主義人民共和国

朝鮮社会科学者協会研究員・修士 李永玉（リ・ヨンオク）

今日、朝鮮民主主義人民共和国の経済は、全般的に上昇の軌道に乗っている。基幹工業部門と重要工業部門の多数の工場、企業所で生産的な昂揚が起きている。昨年度だけで、電力生産は11%増加し、石炭生産は10%増加したのをはじめ、重要な経済指標における生産が増加した。

これとともに、共和国の経済強国建設と人民生活向上において、重要な意義を持つ数多くの対象が改造・近代化され、生産能力が大きく増えた。このような、経済の要求に合わせ共和国政府は、2007年1月1日に発表した『労働新聞』、『朝鮮人民軍』、『青年前衛』3紙共同社説で四大先行部門に力を入れることを、今年の共和国が実現していかなければならない基本経済政策の一つとして掲げ、その実現のために努力している。

## 1. 四大先行部門の意味

経済のすべての部門が、共に有機的に連関している社会主義経済では、人民経済全般の発展に大きな影響を与えうる重要な部門がある。このような部門をどのような位置において発展させるかによって、社会主義経済建設の成果が大きく左右される。共和国では、電力工業、石炭工業、金属工業、鉄道運輸を経済建設の先行部門として見ている。それは、この部門が占めている位置と役割の重要性に基づいている。

近代産業の基本動力である電力は、国の全般的経済発展の中でもっとも基礎的であり、核心的な位置にある。社会的生産の第一段階をなす電力生産を先に立たせ、工場、企業所を運用して生産を増やすことができるし、人民経済のすべての部門を活力あるように発展させることができる。

石炭は、共和国での燃料、動力の基本源泉である。したがって石炭生産は工業生産の第一工程で主導的部門である。石炭があってこそ電力問題を円満に解決することができるし、工場、企業所に燃料と原料を円満に与えて、その生産を活性化することができる。

金属工業や鉄道運輸も同じである。鉄は工業の王であり、経済発展の基礎である。金属工業部門では、人民経済の需要に合うさまざまな品種と規格の鉄鋼材と2次金属加工製品をさらに多く生産してこそ経済全般の発展を力強く促進していくことができる。

社会主義経済発展においては、鉄道輸送手段と鉄道運輸を現代化してこそ生産と輸送間の均衡をとって人民経済の

すべての部門において増加する輸送需要を円満に保障することができる。

このような四大先行部門の重要性から、共和国では、この部門に対する国家的投資を決定的に増やして設備と労力、資材をはじめとする生産条件を優先的に保障する規律と秩序、対策を講じている。

共和国政府は、2007年4月に行われた最高人民会議第11期第4回会議で、経済強国建設の現実的要求に合うように電力、石炭、金属工業と鉄道運輸部門に対する支出を昨年より9.6%増やすことを決めた。これとともに、この部門の生産正常化と拡大に必要な設備と資材などの生産条件を優先的に保障するようにさまざまな対策を立てている。

## 2. 電力問題の解決のための努力

以前の共和国では、自前で電力を円満に解決して、経済建設と人民生活に利用してきた。しかし、1990年代後半から共和国では、アメリカの執拗な経済制裁策動と何年間も続いた自然災害によって、経済建設のための電力需要を円満に充足させることができなかつたし、切迫した電力問題によって工場、企業所の生産と鉄道運行において支障をきたしていただけてはならず、勤労者が生活上に不便を感じていた。さらに、アメリカの対朝鮮敵対政策によって、電力問題を解決するための朝鮮人民の闘争では大きな難関が作り出された。

朝・米基本合意文により、アメリカは共和国が核施設を凍結する代わりに2003年まで軽水炉発電所を提供することになったが、軽水炉建設は基礎を掘るだけで終わってしまった。そのため、朝鮮民主主義人民共和国は莫大な電力損失を生むことになった。電力事情がもっとも切実な中で、朝鮮労働党と共和国政府は、電力問題を自前で解決するためにさまざまな対策を講じてきている。

何よりも大規模水力発電所を多く建設している。水力資源は、共和国の基本的な動力資源の一つである。共和国には、鴨緑江、大同江、豆満江をはじめとして、多様な河川が数百個余りもある。このような条件で、切迫した電力問題を解決するためには、水力資源による電力生産を進めることが合理的である。共和国では、大規模水力発電所を建設する場所に優先順位をつけて、一つか二つずつ並行して発電所を建設しながら、発電所の位置と水資源がどこから得られるか、建設規模と電力生産方法をはじめとするすべ

ての問題を綿密に計算して、最大の実利を得られるように建設することを原則に掲げている。

これと共に、発電所の管理運営で最大の電力を得ながら、生産された電力を効果的に利用するようにしている。安辺青年発電所、泰川3号発電所、4号発電所、興州青年2号発電所などは、経済建設と人民生活で実質的にその効果が出ている大規模水力発電所である。

金津江6号発電所では、数万キロワットの電気が生産され、定平郡内の数千世帯の照明を保障し、数十の工場、企業所を運用するために利用されている。虚川江発電所と赴戦江発電所、江界青年発電所の水力構造物工事は成功裡に終了した。現在、漁郎川発電所、礼成江発電所、寧遠発電所などのさまざまな大規模水力発電所建設が促されており、良い展望が期待されている。

共和国では、次に中小型発電所を大々的に建設して、地方自体で電力問題を解決するために努力している。中小型発電所は、水資源があるところならばどこでも国家的な投資を大きく投入しなくても短期間に建設することができる有利な条件を持っている。共和国では、中小型発電所を至るところに階段式に建設して、地方産業工場と協同農場に要求される電気を自体で充足させる原則掲げている。

例えば、咸鏡南道・徳城郡に建設した南川1号、3号、5号発電所は、数千キロワットから数百キロワット能力までの電力で、数多くの世帯の住居に照明を保障し、テレビも見られるだけでなく、電気炊飯器を動作させたり、暖房用の電力も保障している。咸鏡南道・高原郡では、中小型発電所を実利が出るように建設して、四季を通じて大量の電力を生産し、郡内の勤労者の生活を向上させることに尽くしている。最近だけでも、全国いたる所に29ヶ所の中小型発電所が建設された。ここで生産された電気で数多くの地方産業工場の生産が保障され、数万世帯の住居照明と電気暖房化を実現している。

共和国では、次に火力発電所の電力生産を最大限で増やすために努力している。火力発電所の改造・近代化を積極的に推進することが電力生産を増やすための条件であると見て、この事業に力を集中している。平壤火力発電連合企業所、北倉火力発電連合企業所をはじめとする火力発電所では、現存設備の発電能力を最大限で利用できるようにボイラーとタービン、発電機を補修し、現代化するための闘争を力強く広げている。

火力発電所の生産正常化に必要な石炭を優先的に保障するための国家的対策も立てており、優れた科学技術を積極的に受け入れて、火力発電所で最大限の電力を生産するように努力している。火力発電所の大型ボイラーに循環流動

層燃焼技術を実現させることによって、石炭の微粉化システムをなくして、多くの石炭を節約しながらも、電力生産を増やしつつ公害を防ぐことができる道を開いた。この他にも、共和国では電力問題を解決するために風力発電所建設にも力を入れている。

### 3. 石炭生産を増やすための国家的な経済技術的対策

共和国では、現行の石炭生産を早期に増加させるための経済技術的対策を掲げている。まず掘進と坑道建設を優先する。さらに多くの予備採炭場を十分に用意する。現在、生産において掘進と坑道建設を優先するのは、共和国が一貫して堅持してきた方針である。また、石炭運搬能力を増やし、先進採炭方法を積極的に受け入れて、生産性と採取率を高め、すべての設備の稼働率を高めるようにしている。

すべての炭鉱では、掘進と坑道建設を大胆に繰り広げて、電撃戦を行い、基本掘進による炭量確保と準備掘進による炭量確保を優先している。国家的な力が、集中されることに合わせて、埋蔵量が多く、採掘条件が良い北倉、徳川、得場、順川地区の炭鉱では、探査に力を入れて、2006年の一年だけでも千数百万トンの石炭埋蔵量を確保した。

龍山炭鉱では、圧縮機を採掘場にびたりと接近させ、以前より掘進速度を1.3倍に伸ばしており、岩質に合う穿孔爆破方法を積極的に受け入れ、その効率を高めることによって、短期間にさまざまな予備採炭場を作ることができた。

さまざまな郡の地方産業工場では、自体で炭鉱を開発し、石炭生産を正常化して、燃料問題を自体で解決している。

採掘した石炭を適時に坑の外に引き出すことも石炭生産を増やすための重要な鍵である。すべての炭鉱では、運搬システムを一般的に整備補強して、運搬能力を最大に高めている。これと共に、貯炭場と石炭運搬施設をうまく設けて、ベルトコンベア運搬、炭車運搬、索道運搬をはじめとして、運搬システムの通過能力を高めることにすべての力をつくしている。

共和国では、石炭生産を増やすための国家的対策も積極的に取っている。すべての工場、企業所で石炭生産用資材、設備を無条件で最優先で供給する規律を掲げている。林業部門では、まず坑木を生産して、出荷する秩序をたてるようにしており、金属工業、機械工業、化学工業をはじめとする関連部門では、石炭生産に必要な資材、設備などを適時に送っている。鉄道運輸部門では、輸送体制を組織するにあたって、採掘した石炭を適時に積み出しながら、坑木と設備、資材を優先的に保障している。

### 4. 金属工業発展のための対策

共和国では、国の経済状況が苦しいが、すでに築かれた

金属工業土台の生産潜在力を最大限に高めて、発揚させることを、鉄鋼材生産を増やすための重要な鍵として掲げている。ここで、特に金策製鉄連合企業所をまず活性化することに力を入れている。この企業所は、共和国の鉄鋼材生産で大きい役割を占めている、大冶金基地であり、鉄石が無尽蔵に埋蔵されている茂山鉱山連合企業所に近接しているので、発展展望も非常に良い。アジアではもちろん、世界的にもこの企業所のように大きな鉄鉱山に隣接している鉄鋼材生産基地は珍しい。

金策製鉄連合企業所では、当面は現存設備で鉄鋼材をさらに多く生産して、共和国の自立的民族経済に貢献することを目標としている。焼結炉とコークス炉から改造・現代化することにまず力を入れつつ、酸素転炉と連続鑄造機、加熱炉も新技術を受け入れて、現代化する事業を進行している。

共和国では、鉄鋼材生産を高い水準で、正常化するための原料と資材を円満に生産、保障するようにするのに力を入れている。茂山鉱山連合企業所では、金策製鉄連合企業所の鉄鋼材生産に必要な鉄精鉱生産を増やすために、選鉱場改造事業を力強く展開している。国のくず鉄資源を最大限に動員・利用すれば、工業に対する投資を増やさなくとも多くの鉄鋼材を生産することができる。世界的にもくず鉄加工技術を発展させ、鋼鉄生産に利用しているのが、今日一つの趨勢になっている。こうしたことから、共和国ではくず鉄収集事業を全群衆的な運動として広げている。

共和国では、金属工業の主体性と自立性を強化することも、鉄鋼材生産を増やすための重要な問題の一つとして取り上げている。過去、共和国では酸素熱法による製鉄方法を完成させた。酸素熱法による製鉄方法というのは、鉄鉱石と無煙炭を炉に入れて、酸素を吹き込む方法で鉄を溶解する、主体的な製鉄方法として共和国の実情に最も適したものであった。

最近の成果だけを見ても、城津製鋼連合企業所の労働者と技術者らは、新たな生産工程を主体的に完成させた。この企業所では、大型酸素分離機を生産に導入した結果、電気炉の鉄溶解時間が以前よりはるかに減り、燃料を節約できる土台ができたのである。

共和国では、金属工業の発展にとって切実な耐火物の生産にも転換を求めている。1997年8月23日、高質マグネシアクリンカー工場が操業を開始した。この工場はマグネシアクリンカーだけでなく、耐火煉瓦まで生産する基地として利用されている。現在、高質マグネシアクリンカーの生産にかかる設備、資材、輸送問題に力を注ぎ、経済事業の組織をしっかりと進めている。

## 5. 鉄道輸送手段と鉄道運輸の現代化

共和国の主な輸送形態は、鉄道輸送である。共和国政府は、鉄道運輸部門事業を進めるために、金鐘泰電気機関車工場と元山鉄道車両工場など、関連部門間の生産能力を最大限に発揮させ、鉄道輸送手段の現代化の水準を高めるための積極的な措置をとっている。

なによりも世界経済発展の趨勢にあわせて、新型の交流電気機関車の開発に力を入れている。現在、共和国で使っている電気機関車は、すべて直流式電気機関車である。この直流式電気機関車は、交流電気を直流電気に変える必要があるため、電動機の容積が大きく複雑で、またそれを生産するのにコストがかかりすぎ、牽引力も低く、多くの問題点を抱えていた。よって、交流式電気機関車の開発のための事業に強力な科学技術の力量を動員し、その科学技術的問題を成果的に解いていこうとしている。それとともに、金鐘泰電気機関車工場と、元山鉄道車両工場では、現代的な客車・貨車を大量生産し、鉄道輸送部門に送っている。これらの工場では生産工程に対する科学技術的指導を強化し、製品検査を徹底的に行い、生産されるすべての客車の質を高水準で保つための対策が講じられている。

共和国では、鉄道運輸を推進するためすべての鉄道に重量レールを敷設し、ロングレールを受け入れるという事業を推し進めている。資料によると、ロングレールは、一般的な規格レールを敷いた線路に比べて、列車の運行抵抗が10～15%、線路の維持費用は30～40%低くなり、レールの寿命は1.8倍も長くなるとされる。線路にある木製枕木をコンクリート枕木に全面的に取り替えるには現在あるコンクリート枕木工場の設備を現代化し、原料、資材を適時に確保しながらコンクリート枕木生産を正常化するようにしている。

共和国では、鉄道運輸の事業を全国的、全社会的な仕事として進めている。すべての機関や該当する単位で、客車生産に必要な資材を指標別、規格別、月別に無条件で保証するようにしている。共和国では、『鉄道支援の日』を設け、全党、全国、全民がこの事業に動員され、鉄道事業に積極的に参加するようにしている。

人民経済の4大先行部門に力を入れ、発展させていくには、多くの隘路と難関が待ち構えている。しかし、朝鮮人民は信心高く、四大先行部門を人民経済の主攻戦線として打ち出し、社会主義経済強国建設の突破口を開いていくことになるだろう。

[ 朝鮮語原稿をERINAにて翻訳 ]